

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873500775
法人名	有限会社 おきた建築
事業所名	ぐるうぱほーむ 砥辺
所在地	愛媛県伊予郡砥部町原町260番地
自己評価作成日	平成22年2月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年3月11日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

民家を改造したホームで、一昨年改築工事も行い、利用者様が穏やかにゆったりと過ごす空間が増えました。リビングには常に花を生けており、家庭的な雰囲気があり、笑顔の絶えないホームです。食事はすべて利用者様と一緒に手作りし、毎日利用者様と買い物に出掛けます。ホームの畑で採れた野菜や地物の食材を多く取り入れ、とても好評です。医療面においても、日々の健康管理や観察を丁寧に行い、町内にある協力医療機関と密に連携がとれています。また、職員とも連携がとれ、働きやすく、利用者様とも良い馴染みの関係が築けています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

毎日のメニューは、その日の買い物担当の職員が、利用者の希望を聞きながら立てておられ、職員が交代で調理をされている。朝食は、パンとごはんを選べるようになっており、昼食は肉、夕食は魚を主菜に、一汁三菜を心がけておられる。調査訪問時に、かっぱう着を付けた利用者3名が、キャベツの千切りをされたり、食器を拭いたり、職員と一緒に食事の準備をされる姿がみられた。職員は、事業所の畑で採れた大根で、利用者と一緒に切干大根や漬物を作り、調査訪問日の昼食のメニューにも利用されていた。毎年、梅干しや梅酒も利用者と一緒に手作りされている。又、年末には、おせち料理を利用者と一緒に行き、重箱に詰め、利用者と一緒に新年を迎えておられる。利用者の誕生日の昼食は、ご本人の希望のメニューで、お祝いをされている。利用者からは、お刺身やお寿司の希望が多いようだ。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 ぐるうぷほーむ 砥辺

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

渡部優子

評価完了日

平成 23 年 2 月 20 日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域に密着し、家庭的な雰囲気の中で穏やかに生活できるように、また、その人らしさを大切にして、家族様と共に支え合うことを踏まえた理念を掲げている。毎月のミーティング時には、日々の支援の中で理念を共有し実践できるよう職員間で確認しあっている。	
			(外部評価) 理念は、共用空間に掲示し、又、「砥辺・おきた通信」にも毎号掲げて、ご家族とも共有しておられる。事業所は、この一年、理念に沿って特に「家庭的な雰囲気のもと」「その人らしさを大切に」した支援に取り組まれた。事業所は、民家を改修した家庭的な造りを大切にされており、職員は、ご家族の了解のもと、利用者を「～さん」と名前で呼ばれている。職員同士も名前で呼び合っておられた。職員は、個々にかっぽう着を付け、利用者にはなつかしい家庭的な雰囲気が作られている。さらに利用者「個々の力を活かす」支援に取り組まれており、利用者が「役割」を持って「その人らしい」暮らしができるよう努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域とのつながりが強く、職員も町内や近郊の方がほとんどである。散歩に出たときなど、ご近所の方と挨拶を交わしたり、理容店・美容院等も地元を利用している。毎日の買い物も地元のスーパーを利用しており、顔見知りになっている。運営推進会議に地域の方も参加していただいたり、地域のお祭り等にも参加し、地域とのつながりを大切にしている。	
			(外部評価) 利用者は、シルバー人材センターの秋のイベントに、職員と一緒に出かけ、出店を回ったり、くじ引きに参加して楽しみながら、地域の人達と交流されている。地域の盆踊り大会には利用者の席を準備して下さっている。秋祭りには、神輿が来てくれ、利用者は拍手で出迎え「なつかしいな」「立派やな」と喜ばれるようだ。年末の「もちつき大会」は、地域の方やご家族が手伝って下さり、利用者はおもちゃを丸める役目をされている。敬老の日は、地域のボランティアの方の訪問があり、伊予万歳や「バカ殿」のものまねやカラオケ等を披露して下さい、利用者も大笑いして楽しいひと時を過ごされた。毎年、地域の小学校から、運動会の紅白の紙花作りの依頼があり、職員と利用者が毎日、少しずつ作り、運動会当日は得点板に飾られている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域やご近所の方の相談を受けることも多い。また、必要であれば、地域包括支援センターへつなげることもしている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 践、評価への取り組み状況等について報告や話 し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている	(自己評価) 運営推進会議では様々なテーマで、事業所の取 り組みを報告している。地域の方も出席して いただき、アドバイスをいただくこともある。 家族様の出席は決まった方になりがちであ るが、入居者様を交えた運営推進会議を春 にはお花見、夏にはそうめん流し、年末に は餅つき大会という形で行うことができた。	
			(外部評価) 会議は、系列のグループホームと合同で、地 域の集会所で開催されている。町役場の担 当者や、町議会の方や地域住民の代表とし て公民館の館長や区長が交代で出席してく ださっている。会議では、事業所の現状や 職員の研修の報告等をして、意見等をわか がっておられる。又、避難訓練や外部評価 の結果報告の際は、事業所別に会議を行い より具体的な報告に努め、具体的に意見を いただけるよう取り組まれている。事業所 は、より多くのご家族に参加していただき たいと、土曜日に会議を開催されたり、「看 取り」や「食事の試食会」「尊そうケア」と 議題を工夫されたり、行事に重ねて開催 されている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサービスの取組みを積極 的に伝えながら、協力関係を築くように取 り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議には必ず出席していただき たいと、何でも相談できる関係にある。	
			(外部評価) 運営推進会議時、町の担当者や地域包括支 援センターの方から「利用者の食事の量に ついて」「重度化や看取りの取組みにつ いて」質問があり、事業所のケアサービ スや取組みの実際を伝えておられる。町 の介護相談員を受け入れておられる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束のないケアは実践でき職員も理 解している。玄関の施錠はしていないが、 職員の配置、利用者様の状況により、出 入りがわかりやすいように鈴をつける等 する場合がある。しかし、外に出たくて 玄関を開けて鈴が鳴った時は、制止する ことなく必ず職員が付き添い、一緒に外へ 出ている。	
			(外部評価) 日中、玄関に施錠はせず、職員は、目配 りして利用者を見守っておられる。現在、 気ままに出て行かれる利用者がおられる が、職員は、ご本人が出かける理由を探 り、理解に努めておられる。職員は、事 業所内・外で身体拘束について勉強され ている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  虐待があってはならないことは職員個々が熟知している。気持ちに余裕を持って利用者様と関わり、職員の行動や言動に気をつけ虐待があってはならないことは、常に話している。また、所内研修やミーティング時に学び、再確認しあった。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  代表や管理者は利権擁護や成年後見制度について理解しており、相談があれば適切にアドバイスを行うことができる。今年度研修にも参加し、所内研修で勉強会も行った。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時には必ず、重要事項説明書を読み合わせし、説明を行っている。疑問点についても丁寧に説明し同意を得ている。また、分からない事はいつでも、連絡して下さいと伝えている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  家族様には意見や要望は遠慮なく伝えてほしいと常に話している。また、職員は来訪された家族様に利用者様の普段の様子を細かく話すよう心がけ、家族様が思いや要望などを少しでも話し易いような雰囲気作りに努めている。  (外部評価)  ご家族の来訪時に、「介護記録」を見ながらご本人の日々の生活の様子を説明してサインをもらったり、遠くに住んでおられるご家族には、数か月に一回、手紙でご本人の様子を報告されている。事業所は、ご家族に行事や運営推進会議の案内をされており、会議後は報告書や資料等を送付されている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングや勤務中にも話すことは多々あり、職員の意見や提案を聞いて、できることは反映させている。	
			(外部評価) 職員は、月一回のミーティング時、利用者個々のケアについて意見を出し合い、話し合われている。外部研修の情報提供や研修受講を推進し、又、事業所内の年間の研修計画に基づいて、勉強会を行っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員にとって働きやすい環境や働きやすい条件となるよう、可能な限り努力している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の案内を必ず職員に知らせ、希望者は研修に参加できる体制にしている。また、今年度は2ヶ月間を除きそれ以外の月には、所内研修を実施できた。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 代表や管理者は同業者と交流する機会があるが、現在は職員同士の交流はない。しかし、職員個人が研修等で知り合った方と情報交換することはある。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 本人様が納得して入居できるよう、できる限り努力している。入所前に面談をしたり、体験入所で泊まっていたりも可能である。また、入居後は笑顔を忘れず、穏やかに対応し、不安のない安心した生活ができるよう努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>不安に思っている事や、困っている事など、また要望等は遠慮をせず気軽に話して欲しいと家族様には常に伝えている。また、職員は常に笑顔を忘れず、家族様の思いに耳を傾けられるように心掛けている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様がスムーズに入居できるようホームに通ったり、お試しでの入居も受け入れている。また、入居前には職員が訪問し、馴染みながら入居できるような支援も行っており、常に柔軟に対応している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>女性の利用者様には家事などを一緒にしていただいている。男性の利用者様には男性ならではの力仕事などを一緒にしてもらっている。共に生活しながら毎日色々な話をして楽しみながら生活を共にしている。また、利用者様から職員へ労いの言葉をいただいたり、冗談を言い合ったりして心通わせ、いろいろ学ぶことも多い。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様を共に支えるために面会に来られた際には、状態を詳しく報告したり、家族様にお願い事をする等して、共に支え合える関係が築けるよう努力している。また、入所前の生活状況などを話していただいたりすることで、家族様と職員の距離を少しずつ縮めていけるように心掛けている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族様にも馴染みの方にホームに面会していただくようお願いしている。友人が直接ホームに訪ねて来て下さることもある。できる限り馴染みの関係が継続できるよう支援している。定期的に電話をかけてくれたり、手紙を書いて下さる方もおられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お正月に、自宅に外泊された利用者や、外出に出かける利用者もおられる。ご家族と美容院に出かける方や、職員が送迎して馴染みの美容院を利用している方もいる。幼なじみが数カ月に一度、訪ねて来てくれたり、自宅の近所の方や入院中に知り合った方が会いに来てくれることもある。調査訪問時、男性利用者が二階の窓から故郷の「障子山」を遠くに眺め、懐かしそうに話をしてくださった。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員が一緒になり会話を楽しんだり、歌を歌ったり、ゲームをしたりして、楽しい時間を過ごすようにしている。また、日々の生活の中で利用者個人の思いや感情を深く観察することにより、利用者同士のトラブルや孤立が起きないように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退居時には今後も相談に乗れることをお話している。他のサービスへ移行する際には、詳しい介護サマリーを作成し、しっかりと送り送りをしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者様との日々の関わりの中で(調理の手伝い時、入浴時、散歩時、買い物時、食事時等々)、思いや意向を汲み取る努力している。また、家族様からも情報を得られるよう面会に来られた際には、いろいろ話を聞くようにしている。更に、様々な角度からコミュニケーションを多くとるよう心掛けている。 (外部評価) 職員は、日常の会話や様子から、利用者の思いや希望、意向の把握に努めておられる。定期的に、身体状況のアセスメントをされている。ご本人の希望で、夕食時に、晩酌を楽しむ利用者もいる。	管理者は「利用者の希望や意向に沿った取り組みをしているが、記録ができていない」と話しておられた。利用者個々の希望や意向、興味あること等、情報を集めるアセスメントの工夫に取り組み、さらに「その人らしさを大切にした支援」につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時に利用者様、家族様よりアセスメントシートを元に、聞き取りを行い、今までの生活歴を職員全員が把握するよう努めている。また、ケアマネージャーや関係機関からも情報を得るようにしている。入居後も日々の関わりの中から、利用者様の話や家族様に聞くなどしながら、これまでの暮らしの把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の申し送り時には一人一人の状況を説明し、確認しあっている。また、ミーティング時には利用者様ごとの話し合いを持ち、全職員が現状を把握するよう努めている。更に、受け持ち担当を決め、利用者様ごとに密な関係が築けるよう努めている。	



## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者様の生活や日々の関わりを踏まえて、まずご本人様や家族様とお話しをして、介護計画の内容を相談している。また、今までの評価や、家族様・ご本人様と相談し立案したプランをミーティング時に報告し、それぞれの意見を反映して最終的なプラン作成をしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、職員で話し合い、管理者が作成されている。日々の介護記録で、介護計画の実施状況の記入部分は「P」の記しを付けて、分かりやすくされている。毎月、モニタリングを行い、3ヶ月毎に見直しをされている。「穏やかに過ごして欲しい」「転倒しない生活」等のご家族の希望や意向や、又、「自分でできることは自分でしたい」「何かお手伝いがしたい」等、利用者の思いや意向を介護計画に採り入れ支援されていた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫 を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しな がら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>簡単な現状の記録だけでなく、もっと入居者様の言葉を大切に記録ができるように取り組んでいる。ケアプランのケア内容に即した記録は別の欄に印をつけるようにしている。バイタルサインや排泄の状態、食分量、水分量等に関する状況は毎日把握し、記録している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>通院介助や入退院のお迎え、個別外出の支援、家族様が来られた時などは一緒に食事をしていただく等、色々なケースや状況に対して常に柔軟な対応がとれている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズ に対応して、既存のサービスに捉われない、柔 軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでい る</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ボランティアや民生委員、地域包括支援センターなどと協働したり、町内のイベントにも参加し、より良い暮らしが継続できるよう努めている。地方祭の時などお神輿を見せてもらったり、地域のスーパーや理容室、美容室を利用している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ボランティアや民生委員、地域包括支援センターなどと協働したり、町内のイベントにも参加し、より良い暮らしが継続できるよう努めている。地方祭の時などお神輿を見せてもらったり、地域のスーパーや理容室、美容室を利用している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把 握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊 かな暮らしを楽しむことができるよう支援してい る</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ボランティアや民生委員、地域包括支援センターなどと協働したり、町内のイベントにも参加し、より良い暮らしが継続できるよう努めている。地方祭の時などお神輿を見せてもらったり、地域のスーパーや理容室、美容室を利用している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ボランティアや民生委員、地域包括支援センターなどと協働したり、町内のイベントにも参加し、より良い暮らしが継続できるよう努めている。地方祭の時などお神輿を見せてもらったり、地域のスーパーや理容室、美容室を利用している。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>協力医療機関のみならず、希望される医療機関を受診できるよう常に支援しており、皮膚科や整形外科等、受診されている方がおられる。協力医院からは、月1回の往診があり、利用者様個々の健康状態を把握していただき、密な連携がとれている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>現在は、ご家族等の希望により利用者全員が、協力医療機関で診てもらっており、月に一回往診を受けておられる。専門医の受診は、職員が付き添っておられる。事業所の看護師資格を有する職員と、24時間連絡できる体制になっていて、協力医療機関は、24時間救急搬送の受け入れが可能になっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>ホームには看護師がおり健康管理や、急変時にも適切な対応がとれている。また、協力医療機関の訪問看護師や外来看護師とも連携がとれており、気になる事は気軽に相談できる関係であり大変心強い。</p>	
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>入院中は主治医、病棟看護師、家族様と密に連絡を取り合い、早期に退院できるように働きかけ、入院による利用者様のダメージを最小限にできるよう努力している。入院時には、ホームの職員も都合の付く限りお見舞いに行き、情報の把握に努めている。</p>	
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>重度化や看取りに関して指針を定めている。利用者様ごとに状況を見ながら、ホームがどのような支援を行えるのか、その都度ご家族様とも慎重に話し合いを重ねながら、検討し実施できるようにしていきたい。</p>	
			(外部評価)	
			<p>事業所は、利用者の状態の段階によって、事業所でできること・できないことを説明しておられる。現在「最期までお願いしたい」と終末期支援を希望するご家族がおられ、又、「ずっとここにいたい」と希望する利用者もおられるようだ。職員は、看取りの外部研修やシンポジウムに参加して、勉強をされている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署の講習を受けたり、ミーティングで対応を話している。今年度はさらに、勉強会を重ね、実践力を見につけていきたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回、4月と10月には消防に来ていただき、入居者も共に避難訓練を実施し、消火器や通報装置の使用方法も学んでいる。また、近隣の方へは、日頃のお付き合いの中で、災害時に協力が得られるように働きかけている。今年度は、10月の避難訓練時に、地震訓練も合わせて実施した。 (外部評価) 昨年5月には、自動火災報知機を設置して、現在、スプリンクラーの設置工事中である。昨年10月は「地震後の出火」を想定して避難訓練を実施された。消防署の方から「地震後の避難の際は、スリッパは危険であり、靴を履くように」とアドバイスをいただき、職員は「災害時の避難について、普段から意識して確認し合うことの大切さ」を感じられている。運営推進会議時、地域の方から「避難訓練の際に、近所の方にも参加をお願いしてはどうか」と意見をいただき、お隣の「シルバー人材センター」の職員にも、避難訓練の様子を見学していただき「もしもの時の協力」を依頼されている。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人生の先輩である利用者様には常に敬意を払い、さりげない介助(言葉遣いなど)を行い、嫌な思いや不安感を持たないように気をつけている。常に利用者様を尊重した声掛けが行えるよう、毎月のミーティング時で職員間で再確認している。利用者様の個人情報については、外部に漏らすことのないよう、責任ある取り扱いをしている。 (外部評価) 管理者は、職員に「トイレ誘導時等、排泄の声掛けは、小さな声で。ご本人の病名や、内服薬の話は、他の利用者が居る所ではない」ことを、話しておられる。前回の外部評価を受けて、紙おむつ等の介護用品の収納にも配慮されており、トイレの棚には、カーテンを取り付けておられた。調査訪問日の昼食時、利用者は「おいしいね」と食事の感想を職員に言うと、職員は「～さんが手伝ってくれたからよ」と笑顔で優しく返しておられる様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様に合わせた声掛けを行い、できる方には自己決定していただいている。ただ、意思表示が上手くできなかったり、理解が乏しかったりする場合も不安にならないように、職員が思いを察知してスムーズに自己決定ができるように努力している。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ホームの中で、なるべく利用者様一人一人のペースを大切にして、 思いに沿った自由な生活ができるように、あくまでも利用者様を優 先して支援している。希望は聞いているが、職員が買い物等で1名 居ない時などは、ホーム内が手薄になるために散歩等は時間をず らすことがある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 日々の生活の中で、身だしなみが整えられるよう支援している。散 髪や髪染めも本人の希望に沿ってなじみの理・美容室に出かけ、 おしゃれが楽しめるようにしている。四季を通じ清潔に心掛け、入 浴後の手足の爪切りも気をつけて行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者様と毎日スーパーへ食材を買いに行き、おやつもなるべく 利用者様に考えて選んでいただいている。また庭で収穫した旬の 野菜を使い、彩りや栄養価も考えながら、楽しい食卓になるよう努 力している。料理の下ごしらえや調理、盛り付け、後片付けなど、毎 日利用者様と一緒に話しながら楽しく行っている。 (外部評価) 毎日のメニューは、その日の買い物担当の職員が、利用者の希望 を聞きながら立てておられ、職員が交代で調理をされている。朝食 は、パンとごはんを選べるようになっており、昼食は肉、夕食は魚を 主菜に、一汁三菜を心がけておられる。調査訪問時に、かつぼう着 を付けた利用者3名が、キャベツの千切りをされたり、食器を拭いた り、職員と一緒に食事の準備をされる姿がみられた。職員は、事業 所の畑で採れた大根で、利用者と一緒に切干大根や漬物を作り、 調査訪問日の昼食のメニューにも利用されていた。毎年、梅干しや 梅酒も利用者と一緒に手作りされている。又、年末には、おせち料 理を利用者と一緒に手作りして、重箱に詰め、利用者と新年を迎え ておられる。利用者の誕生日の昼食は、ご本人の希望のメニュー で、お祝いをされている。利用者からは、お刺身やお寿司の希望 が多いようだ。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 脱水には特に気を付け、1日の水分量が1200CC以上になるよう努 めており、記録に残している。体重の増減や身体の状態を把握して バランスの良い献立を心掛けている。利用者様の身体の状態に応 じた量や作り方を考えながら味付け、切り方などにも気を配ってい る。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後のうがいや、歯磨き、就寝前の義歯のケアができるよう声掛 けや洗面所への誘導を行い、口腔ケアに努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄パターンの把握に努め、配慮のある声掛けにより、トイレへの時間誘導を実施しながら失敗が減っていくように支援している。また、無理強いすることなく、トイレに行こうとされた時にさりげなく見守りや介助を行い、不衛生にならないように気をつけている。	
			(外部評価)	
			入居時、おむつを使用していた方もおられたが、ご本人の様子を見ながら、ご本人とも相談して紙パンツを使用してトイレで排泄できるよう支援をされた。排便を失敗することが多い利用者には、職員で話し合って毎日、朝食後にトイレに座ることを支援されて、朝食後に排便する習慣ができて、生活が改善された事例がある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			水分摂取に気を付け、繊維質の多い野菜類を献立に出すようにしている。また、個々の利用者様に合わせ、便秘解消の食材や果物を提供するなど、便秘改善に向け働きかける努力をしている。	
			(外部評価)	
			見守りをしながら半介助で入浴される方がほとんどであるため、気持ちよく入浴していただけるよう、利用者様の好みに合わせて会話をしたり、一緒に歌を歌うなどして、楽しく入浴ができるように努力している。また、熱めのお湯が好みの方やぬるめのお湯が好みの方に合わせ、時間帯等も個々に応じた入浴の支援を心掛けている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			日曜日以外は、毎日お風呂を沸かして、利用者個々に、週3回、入浴できるように支援されている。冬は柚子湯を、楽しめることもある。事業所は、入浴用リフトを設置されていて、重度の方も浴槽で温まれるようになっているが、現在は、リフトが必要な利用者はおられない。	
			(外部評価)	
			見守りをしながら半介助で入浴される方がほとんどであるため、気持ちよく入浴していただけるよう、利用者様の好みに合わせて会話をしたり、一緒に歌を歌うなどして、楽しく入浴ができるように努力している。また、熱めのお湯が好みの方やぬるめのお湯が好みの方に合わせ、時間帯等も個々に応じた入浴の支援を心掛けている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			昼間はできるだけ活動的に過ごしていただき、夜間は良眠できるように買い物にお誘いしたり、散歩をしたりしながら、一人一人の生活リズムが継続できるように支援している。入居者様の生活リズムでお昼寝をされる方もおられるが、それは個人の意志を尊重している。	
			(外部評価)	
			昼間はできるだけ活動的に過ごしていただき、夜間は良眠できるように買い物にお誘いしたり、散歩をしたりしながら、一人一人の生活リズムが継続できるように支援している。入居者様の生活リズムでお昼寝をされる方もおられるが、それは個人の意志を尊重している。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 飲み忘れや誤薬がないよう職員2人で声を出して確認し合うようにしている。お薬手帳や説明書はいつでも確認できるよう、目につくところに置き、薬の把握に努めている。また、服薬後は症状に変化がないか観察するなど、気を配っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者様1人1人の趣味や役割など、できることを見つけるのは難しいが、毎日の料理の手伝いで笑顔が見られたり、外出や、お散歩で喜んでもらえたり、縫い物など一緒にしながら話したりと気分転換やストレス解消が少しでもできるよう努めている。また、毎夕食時に楽しみである晩酌をされる利用者様もおられる。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎日の買い物には必ず、入居者様に声をかけてお誘いしている。職員の手配の都合や利用者様の身体の状況もあり、遠方への外出は十分にできていない。しかし、近くの散歩や日向ぼっこ等は日常的に実施できている。お花見等は家族様や地域の方もお誘いして行った。 (外部評価) 気候の良い季節は、日常的に庭に出たり、事業所の周りを散歩しておられる。散歩時に、近所にある系列グループホームに立ち寄ることもある。正月には初詣に出かけたり、ドライブして梅やボタン等、季節の花を見に行かれることもある。又、近所でつくし採りをされたり、事業所の畑で野菜の収穫や、イモ掘りを楽しまれた。回転寿司や近所のうどん屋で外食をされることもある。又、洋服やお菓子等、個々の買い物の希望にも応じて出かけておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現金を所持していてもきちんと管理できる利用者様は現在おられない。ただ、一緒に買い物に出かけると持っておられるお小遣いもち、買い物をした後で職員が介助しながら支払うことができるように支援している。ご本人様も買い物をしたという満足感があり喜ばれる。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 現在は自分で自由に電話をできる利用者様がおられないので、希望された時には職員がダイヤルプッシュをし、会話を楽しんでいただいている。また、ハガキを書いていただき、投函することもある。楽しみが増えるため、希望があればいつでも対応している。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 民家を改築しており、家庭的な雰囲気がある。一昨年には利用者様が更に居心地の良い空間で生活していけるよう、更に改築を行った。リビングには常に花や季節感のある飾り付けを行っている。また、季節に応じて室温や光や音には気を配り、不快な空間とならないよう配慮している。手狭ではあるが、台所がすぐそこにあり、家庭そのものである。	
			(外部評価) 玄関前のプランターにはパンジーの花が咲き、事業所の玄関や、所々に沈丁花等の季節の花が飾られ、いい香りがしていた。食堂の壁面には、利用者個々の笑顔の写真が飾られてある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者様が自由に過ごしていただける空間となっている。また、家族様が来られた時にはお茶を飲みながら一緒に過ごされることもあったり、気の合う利用者様同士でお話しされたりしている。孤立するようなことがあれば、必ず職員が入りお話しすることで淋しい思いをしないように配慮している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた物や馴染みの品を持って来ていただけるよう、家族様に声掛けし、過ごしやすいお部屋となるよう努めている。持って来られる物が少ない利用者様には、担当者が買い物に行った際、小物などを購入し、お部屋を飾ったりしている。また、たすのちの整理整頓も利用者様と一緒にするように心掛けている。	
			(外部評価) 居室の入り口には、ご本人の顔と名前が描かれた砥部焼のプレートが飾られてある。ご主人の位牌を持って来られている利用者は、ご自身でしきびの水を交換されたり、お水を供えておられる。又、朝食に出たバナナや、職員がご自宅から持参した沈丁花も供えておられた。使い慣れたタンスや三面鏡、テレビを持ち込まれている方もおられる。又、読みかけの「人生の終いじたく」の本が置かれている居室もあった。窓に、ロールカーテンや障子をはめ込んでいる居室もみられた。ご自分で布団をたたんだり、居室の拭き掃除をされる利用者も複数おられる。調査訪問日の昼食後は、居室に戻られてベッドで休まれている方や、居室や居室前の廊下の拭き掃除をされている利用者もみられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーの造りではないが、随所に手すりを配置し、利用者様が安全に移動していただけるよう配慮している。また、場所に対する混乱がないよう、トイレの表示や自室の名札などをつけて、分かりやすくしている。	